

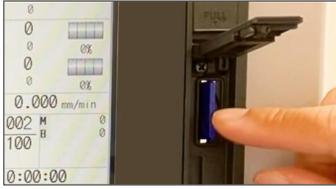
SDカードにNCのデータをリストアする方法

対象機種：M800/M80/E80シリーズ

Valuing!
価値を創りつづける力、MMEG。
For "Solution 360"

1 データの呼び出し

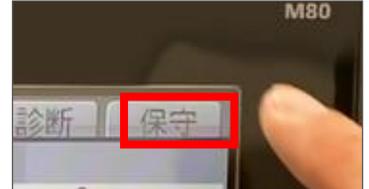
1. SDカードを挿入する



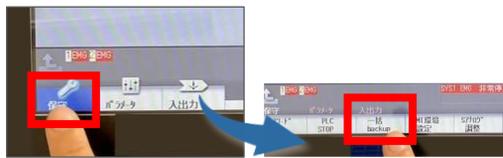
2. 安全のため非常停止ボタンをONにする



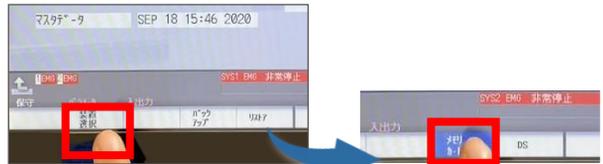
3. 「保守」画面に移動



4. 「保守」から「一括backup」を押す

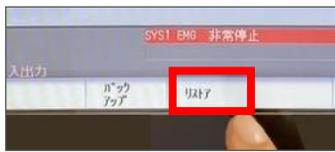


5. 「装置選択」から「メモリーカード」を選択

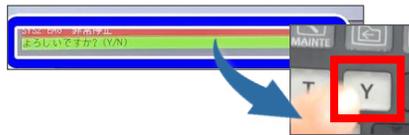


2 リストア操作

1. 「リストア」を押す



2. 確認メッセージが表示されたら
キーボードで「Y」を押す



3. リストア開始して完了

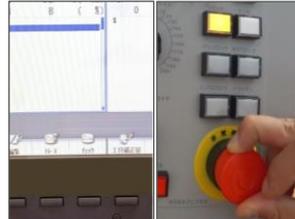


3 リストア完了後の操作

1. SDカードを取り出す



2. 非常停止を解除する



※以下の場合はリストアは行われません。

- 自動運転中の場合
- データ保護キー1,2,3のいずれかが有効の場合
- NCの製造番号とバックアップデータの製造番号が一致しない場合
- 転送元に「システムデータ」ファイルが存在しない場合
- 大容量PLCオプションが有効時に256KBより大きいラダーのバックアップを行い、オプションを無効にした後にリストアした場合

リストアされるデータ

保守画面表示	ファイル名	データの内容	
システムデータ	SRAM.BIN	SRAMデータ (プログラム、パラメータ、Rレジスタなど)	
	ALL.PRM	パラメータ (SRAMデータの一部分、バックアップのみ)	
	ASSEMBLY.INF	システム構成 (バックアップのみ)	
	USERPLC.LAD	ユーザーPLCプログラム	
ラダー	EIPCONFDATA.BIN	Ethernet/IPコンフィグレーションファイル	
	CNFDEVIC.001	PROFINETコンフィグレーションファイル	
	CNFMAS.001		
	CNFNAME.001		
	copycross10.Bin		
	PLCMMSG_XXX.TXT	機械メーカーPLCメッセージファイル (※XXXは各言語名)	
	PLCLMSG_XXX.TXT	エンドユーザー向けPLCメッセージファイル (※XXXは各言語名)	
	MCRLMSG_XXX.TXT	マクロアラームメッセージファイル (※XXXは各言語名)	
	安全/パラメータ	SAFEPARA.BIN	安全パラメータ
	安全ラダー1	SAFEPLC1.LAD	安全PLCプログラム1
安全ラダー2	SAFEPLC2.LAD	安全PLCプログラム2	
APLCデータ	APLC.BIN	ユーザが作成したC言語モジュール	
カスタムデータ	-	カスタム画面データ (カスタム画面モジュール、設定ファイル (Config.ini/customdel.ini/customload.txt)、ガイダンスデータ等)	

安全上のご注意

- ・ 据付、運転、プログラミング、保守・点検の前に必ず機械メーカーが発行の説明書および本制御装置の取扱説明書、保守説明書等関連説明書、付属書類を熟読し、正しくお使いください。
- ・ 本制御装置の、知識、安全の情報、そして注意事項すべてについて習熟してから、お使いください。

注意事項

- ・ リストア作業は原則、データが消失した場合のみ実施してください。
- ・ リストアに失敗した場合は正常に動作しないので、必ず再度リストアを行ってください。
- ・ リストアによって、絶対位置データも書き換えられます。リストア後に再度絶対位置検出を行ってください。
- ・ データバックアップした日付時点のデータに書き換わるため注意が必要です。
- ・ データバックアップ、リストア中にデータ消失等のトラブルが発生した場合、当社では一切の責任を負いかねます。

お問い合わせ

- 東日本地区 東日本コールセンター TEL：048-710-4396
- 中日本地区 本社コールセンター TEL：052-722-4076
- 西日本地区 西日本コールセンター TEL：06-6489-0431

YouTubeにて動画を公開中!

